



DH SYSTEM
大日本塗料株式会社

エポニックスH-R

1. 塗料名 超厚膜形エポキシ樹脂塗料 (カップ式塗装用途)
 2. 規格 鋼道路橋塗装用塗料標準 (2014)
 3. 特徴
 1) 1回塗で厚膜が得られ、塗装作業性がすぐれている。
 2) 無公害特殊防錆顔料の効果により、非常にすぐれた耐食性を発揮する。
 3) ボルト部のカップ式塗装に適用できる。

4. 塗料性状

項目	内容					
容姿	2液性					
荷姿	20kgセット(主剤:18.0kg、硬化剤:2.0kg) 5kgセット(主剤:4.5kg、硬化剤:0.5kg)					
色相	N-7.0、N-8.5、黒、ブラウン					
密度 (23°C)	塗料	1.38				
	揮発分	0.86				
粘度(23°C)	100KU					
加熱残分	84%					
乾燥時間	温度	5°C	10°C	20°C	30°C	40°C
	指触	8時間	6時間	4時間	3時間	2時間
	半硬化	24時間	16時間	8時間	5時間	4時間
標準膜厚	150μm、300μm					
引火点	SDS参照					
発火点	SDS参照					
爆発限界(下限~上限)	SDS参照					

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

6. 施工上の注意

- 被塗面のさび、油、湿気、じんあい等の有害な付着物は完全に除去すること。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な塗料状態にすること。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか塗膜が硬化しないことがある。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。
- 希釈には、エポニックス橋梁用シンナーを使用する。
- 塗装終了後の使用機器は直ちにエポニックス橋梁用シンナーで十分に洗浄する。一度硬化すると再びシンナーでは溶解しなくなる。
- 事前にカップ式塗装説明書を参照し、施工上のポイントを十分に把握した上で施工すること。
- 夏季は可使時間を超過するおそれがあるため5kgセットを使用する。
- 作業を中断する際は、電動エアレス塗装機内から塗料を排出し、洗浄すること。

5. 塗装基準

項目	内容	
素地調整*	—	
調合法	主剤:90部、硬化剤:10部(重量比)	
可使時間*	3時間以内(20°C)	
温度・湿度制限*	温度:5°C以下、湿度:85RH%以上	
使用シンナー	エポニックス橋梁用シンナー及び同夏型	
塗 装 法	塗装方法	カップ式塗装(電動エアレス)
	希釈率	5%以下
	標準使用量*	1100g/m ²
	目標膜厚*	300μm
	ウェット管理膜厚	400μm
塗装間隔* (20°C)	最小	1日
	最大	10日

注) *は「鋼道路橋防食便覧 塗装編」による。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	第2種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

8. 使用上の注意【警告】

- (1) 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。